

会陰部外傷に対するを受けられた患者さんの

検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 当科における会陰部外傷の臨床的検討

[当院の研究責任者] 小児外科 生野猛

[研究の背景]

会陰部外傷における診療ガイドラインは作成されていない。当科における会陰部外傷への対応方針は診察は局所の観察に加え、超音波検査を施行し、必要に応じて画像検査を追加している。治療は外表のみの損傷に対しては保存的療法、侵襲的処置が必要な損傷、深部臓器損傷が疑われる場合は全身麻酔下に診察・処置を行っている。これまで当科で経験した症例を振り返り、臨床的特徴を把握し、より適した会陰部外傷への治療方針を再検討する。

[研究の目的]

当科で経験した会陰部外傷における臨床的特徴及び治療経過に関して検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

会陰部外傷の患者さんで、西暦 2018 年 1 月 1 日から西暦 2022 年 11 月 30 日の間に小児外科で治療（検査）を受けた方

●研究期間：西暦 2018 年 1 月 1 日から西暦 2023 年 6 月 3 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし（診療または他の研究で使用した余りの検体で保管することに以前同意をいただいたもの）

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、治療内容、合併症

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は第60回日本小児外科学会学術集会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である生野猛が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

小児外科 生野猛

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881